

### 3. 明学レッドクロス

(日本赤十字社とのボランティアパートナーシップ)



## 日本赤十字社との連携

本学と日本赤十字社は、ともに創設 150 周年を迎えた 2013 年に、ボランティアの精神を未来へつなぎ、広げてゆくことを目指し「日本赤十字社・明治学院大学 共同宣言 ―ボランティア・パートナーシップ・ビヨンド 150―」を結んだ。その際に日本赤十字社との活動に携わる学生メンバーとして結成された「明学レッドクロス」は 3 年目の活動を迎えた。2015 年度は日本赤十字社提供のプログラムに積極的に参加することで弾みがつき、年末の海外たすけあいキャンペーンでは独自企画も実現。大幅にメンバーが増え、1 年生 15 人、2 年生 5 人、3 年生 1 名の計 21 名となった。

赤十字の報告会や実際の活動に参加し、国内および世界の人道的な課題に触れ、そこで出会うさまざまな世代のボランティアや日本赤十字社の職員の方々と協働する経験を積み重ねることで、学生自身が何かを感じ、さらなる学びを意識していく。それが創造力と行動力を育み、150 年目の決意「ボランティアの力が、人を育て、人を救う。」につながっていくと考えている。

### 2015 年度 明学レッドクロスの主な活動

日にち	内容 (参加人数)	主催・連携先
5/13 (水)	平成 27 年全国赤十字大会 (東京都渋谷区) の運営学生ボランティア (2 名)	日本赤十字社
6/20 (土)	1 Day for Others プログラム「あなたの一歩が命を救う ～赤十字救急法基礎講習～」を担当	日本赤十字社神奈川県支部
9/4 (金)	「赤十字×気象庁 防災ワークショップ in 明治学院大学」香港赤十字ユース 9 名と防災をテーマに交流 (7 名)	中国紅十字会香港支部・日本赤十字社・気象庁
10/3 (土) ・4 (日)	「グローバルフェスタ JAPAN2015」に海外たすけあい広報ユースとして参加 (3 名)	日本赤十字社
10/13 (火)	白金キャンパス秋の移動献血会で呼びかけ活動 (2 名)	東京都赤十字血液センター
11/7 (土)	「赤十字シンポジウム 2015」の運営スタッフ (1 名) 終了後、シリア赤新月社ボランティアにインタビュー	日本赤十字社・NHK
12/9 (水) ～1/5 (火)	横浜キャンパス図書館で企画展示「赤十字と明学 ～明学レッドクロスから学生に伝えたいこと～」*海外たすけあいキャンペーン	明学レッドクロス
12/12 (土) ・13 (日)	海外たすけあいキャンペーン街頭募金を西武東戸塚店で実施 (7 名)	明学レッドクロス
2/23 (火)	他大学の赤十字ユースと日本赤十字社本社見学および活動紹介・交流会 (12 名)	名古屋学芸大学「ハートフル・エデ」

(職員 宮城玲子)

## 国連防災世界会議

### 第3回国連防災世界会議

活動日時 2015年3月11日(水)～3月18日(水)

活動場所 宮城県仙台市

活動内容 兵庫枠組協定の後継枠組を決めるために、防災・減災について考える会議  
日本赤十字ユースとして参加

今回の会議への参加に際して、事前学習をおこなった。事前学習の内容は、日本赤十字社が発災の際にどのように対応するのかについて、東日本大震災を例にして学んだ。この学習が、地震大国である日本の特徴をとらえ、会議に参加した他国の赤十字ユースを始めとした交流に役に立った。また、自分が日本人であるにも関わらず、知らなかった東日本大震災における赤十字の役割について知ることができた。

会議と一緒に参加したユースは、Fiji Red Cross Society、Bangladesh Red Crescent Society、Mongolia Red Cross Society、Red Cross Society of China、Cambodian Red Cross、German Red Cross、Italian Red Cross、Thai Red Cross、神奈川県赤十字青年奉仕団から派遣されたメンバーである。

一緒に参加した赤十字ユースのメンバーとの交流が、今回の会議において大きな刺激となった。一緒に参加したメンバーは「今回参加したのだから、自分たちがやったこと・やりたいことを世界に発信し、残さなければならない」と言った。会議での交流や考える規模は、国際基準・政策レベルが多かった。しかしこの一言によって、私も学んだことを生かして、行動に移さなければならないと考えた。

実際に行動に移さなければならないと考えた点は2つある。1つ目は、若年層に対する防災・減災に関する知識の普及をおこなうこと。2つ目は、地域の特徴にそった防災・減災活動を、地域住民と一緒にこなうことである。以上の点に重点を置きながら、今後も活動するとともに、一緒に参加したユースメンバーとの意見交換もおこなっていきたい。

(学生メンバー 国際学部国際学科)

## 気象庁ワークショップ

### ～香港のユースボランティアと防災ワークショップで国際交流～

明学レッドクロスは、活動の一環として国際交流もおこなっている。9月4日、白金キャンパスにて赤十字の活動をしている中国紅十字の香港支部のユース9名と交流した。

今回は、防災活動について学んだ。「経験したことのない大雨 その時どうする？」というテーマのもと、気象庁の講師の方と、気象予報士でありNHK 気象キャスターの菊池真以さんから講義を受けた後、グループごとにワークショップを実施した。

意見交換を通して、香港のユースに日本の防災について知ってもらうことができ、私たちが改めて防災について学ぶことができた。

(学生メンバー 法学部政治学科)

## 移動献血会

活動日・場所 2015年10月13日(火) 10:40～16:50 白金キャンパスパレットゾーン前

活動内容 献血活動の呼びかけ実施

参加人数 明学レッドクロス 学生メンバー2人

今年は献血活動に加えて、骨髄バンクの登録も合わせておこなった。明学レッドクロスからは2名の学生が参加した。最初は献血に全く興味を示さない学生もいたが、献血は「痛くない・30分程でできる身近なボランティア」ということを伝えると、多くの学生が参加してくれた。同じ立場の学生が献血の呼びかけをおこなうことで、たくさんの協力を得ることができたと思う。合計で81名受付(採血者:50名)と、目標人数を大きく上回った。また、当日は献血推進キャラクターの「けんけつちゃん」も参加し、学生へPRすることができた。



(学生メンバー 社会学部社会福祉学科)

## NHK 海外たすけあい キャンペーン

活動期間 2015年8月6日(木)～12月25日(金)

活動内容 紛争・災害・衛生問題で苦しむ人々を救うためにNHKと日本赤十字社が共同運営する募金活動

参加人数 明学レッドクロス 学生メンバー3人

活動のメインは12月1日（火）～12月25日（金）の期間におこなう募金呼びかけ活動だが、関連イベントやPRのため、他大学の学生とともに8月から企画や広報活動を実施した。主な関連イベントは2つ挙げられる。グローバルフェスタでは、来場者の興味をひくためのブース展開を考えながら企画した。また赤十字シンポジウムでは、シリア赤新月社の方にインタビューし、血と涙を目の当たりにしながらの活動について直接お話を伺うことができた。どちらも普段できない経験で、このような機会をいただいたことに感謝するとともに、自分にできることは何かを考えるよき契機となった。

（学生メンバー 法学部政治学科）

## NHK 海外たすけあい 明学レッドクロス主催の活動

### 募金活動

活動日時 2015年12月12日（土）・13日（日）10:00～17:00

活動場所 西武東戸塚店 7階ファーストブリッジ

活動内容 中東の紛争や災害に苦しむ人々への支援を目的とした募金活動に参加

参加人数 明学レッドクロス 学生メンバー7人

たくさんのご協力のもと、募金総額は約7万円に達することができた。資料の配布やパネルの展示を通し、今回の募金活動では、少しでも多くの方に「海外たすけあい」キャンペーンを知っていただけた機会になったと思う。活動後のミーティングでは、改善点がいくつか挙げだったので今後の活動に生かしていきたい。



### 横浜図書館展示「赤十字と明学 ～明学レッドクロスから学生に伝えたいこと～」

活動期間 2015年12月9日（水）～2016年1月5日（火）

活動内容 「海外たすけあい」キャンペーンに合わせて図書館にて赤十字に関連した書籍の展示

展示に向けて各メンバーが関連書籍を選び、ポップの作成をした。また、実際に日本赤十字本社の方に足を運んでもらい、展示を見ていただくことができた。評価をいただき、やりがいのある経験ができたと思う。

（学生メンバー 社会学部社会福祉学科）